

般若区地元説明会質問等要旨

- 日 時 平成25年5月25日(土) 午後7時3分～午後8時56分
(1時間53分)
- 場 所 般若町公民館
- 出席者 般若区住民67名(63世帯)
市役所 市長、副市長、教育長、生活産業部長、広域ごみ処理施設建設対策室長始め
対策室員5名
準備室 尾張北部地域ごみ焼却処理広域化第1小ブロック会議準備室長始め準備室員
2名

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・中般若の候補地は、岐阜基地の関係で高さ制限があり、56m以上の煙突はできない。煙突が低いということは、粉塵の拡散ができない。このことは、候補地を選ぶ上で大きな減点にならないのか。</p>	<p>・煙突から出るものは主に水蒸気である。それまでに、バグフィルター、活性炭等の最新技術によって、排ガスはきれいにされる。排ガスについては、極めて安全なものである。</p> <p>なお、県内には田原市の施設のように、23mの煙突の施設がある。隣の岐阜県では、県の条例の関係で、50m未満の施設が多く見られる。最近の例でいくと、現在、岐阜羽島衛生組合が建設を計画している我々と同規模の施設が50mである。</p> <p>なお、航空法の関係で60m以上の場合には航空標識灯などが必要となり、投資対効果の関係で、全国的に60m未満に抑える施設が一般的である。これと比較すると、3mほどの差しかないということで、影響はないと考えている。</p>
<p>・草・剪定枝は堆肥化されると聞いているが、なぜ処理対象ごみに含まれているのか。</p>	<p>・江南市については草・剪定枝を昨年の6月から分別収集し、堆肥化している。資料には尾張北部地域第1小ブロック広域化実施計画の計画トン数である236tを掲載している。今後、し尿処理残渣を含め、236tから絞り込んでいく。</p>

質問・意見等	回答
<p>・安全面での補償は、地元同意前に決めておくべきではないか。</p>	<p>・施設を建設する際には、お地元と協定を結び、故障時における安全面での補償などについても文書で約束をする。</p>
<p>・全運転炉とあるが、他の施設の事例で「運転を継続するために、ごみをかき集めなければいけない。燃やすものが少ないと安定稼働できない。」というような話を聞く。燃やすものが少なくても、少ないごみで運転を維持できるような施設を考えていただけるのか。</p>	<p>・2市2町のごみ量は全連続運転が可能なので、構成市町以外のごみまで集めて処理をすることは考えていない。</p>
<p>・施設ができた場合には、南北線を絶対に通らないでいただきたい。</p>	<p>・アクセス道路については、地元同意が得られたら、お地元の意見をよくお伺いしながら、第1小ブロック会議で検討していく。</p>
<p>・地震対策について触れていないが、候補地は河川敷なので、地盤が弱いのではないか。通常時は安全だということが分かったが、地震で壊れたら運転できないし、地震があると、ごみはたくさん出る。災害ごみだけでなく、ごみは家庭から毎日出る訳で、それが中般若に運び込まれてくることになる。その対策についてはどのようにお考えなのか。</p>	<p>・東日本の大震災で、軽微な被害はあったが、津波以外で焼却に影響を与えるような被害を受けたごみ処理施設はないと聞いている。新しい施設を防災拠点にするかどうかについては、地域の皆様の要望をお伺いして、第1小ブロック会議の中で検討していくことになるが、災害時に地域に電気やお湯を供給するなどの支援が可能な施設である。</p> <p>・大規模災害時には、各市町で、例えば大きな公園などを災害ごみの仮置き場にするといった計画が作成されているため、中般若に2市2町の災害ごみがすべて持ち込まれることは心配しなくて良い。</p>
<p>・建設地となった場合、中般若町北浦地内をごみ処理施設の用途地域として都市計画決定をすると思うが、これからずっとごみ処理施設の敷地となるのか。</p>	<p>・ごみ処理施設は一般的には20年から24年で更新時期を迎える。次回の更新にあたっては、現在の2市2町の枠組みではなく、小牧市と岩倉市を含めた4市2町の枠組みも視野に入れ検討することになる。中般若町北浦地内で半永久的にごみ処理を行うということではない。</p>

質 問 ・ 意 見 等	回 答
<p>・地元同意について、住民全員に確認するのか、区の役員だけで決められるのか。</p>	<p>・地元説明会や施設見学会を通じ、施設に対するご理解を深めていただき、多くの皆さんから了承を得られた場合には、第1小ブロック会議で協議していくことになる。現時点では、どうなったら同意かについては決まっていない。</p>
<p>・今後、住民に対するメリットはあるのか。</p>	<p>・住民の皆さんのご要望をお伺いしながら、地域振興策を2市2町の中で決定していくことになる。他の自治体の例では、余熱を活用した健康増進施設、浴場、環境学習拠点施設、通学路の整備、防犯灯整備、カーブミラー、ガードレール等の交通安全設備の整備などがある。</p>
<p>・私たちが現在のような恵まれた生活環境を維持していくためには、ごみ処理施設、し尿処理施設、火葬場などは必要不可欠である。大口町の焼却施設も限界に達しており、早急に新施設を造らなければならない段階にあることが良く理解できた。</p> <p>ある政党から紙爆弾がポストに投げ込まれるが、ごみは出すけれども、よそへもって行ってくれというのは、対案がなく反対のための反対に受け取れる。</p> <p>今日のような場で、行政を支持するとは、なかなか言いにくいですが、中般若地区が江南市の中では一番良い場所ではないかと思う。</p> <p>中般若に造るのであれば、なるべく今の樹木を残しながら、森林公園の中の施設のようにしていただければ、住民の協力が得られるのではないかと思う。</p>	<p>・ご提言いただいたことをありがたく頂戴する。是非、皆さんからいろんなご意見をお伺いし、皆さんが納得のいく決定を進めていきたいと思っている。一番大事なことは地元の皆様との信頼関係である。ここにできて本当に良かったと言っていたできるようにしていきたい。二度、三度とこうした説明会を持ちながら進めたいと思っているのでよろしくお願いしたい。</p>